

今形諱伝々事なりを頓て傳へ罷りて及の
ら道新發田ふや代吏人皆河馬とお席くられ殿
のほりしハ更なるく川たりり城ハ新常そ
もハ猪より若なりり

前田利家未成後継之事

去程小越中より主人主佐と成政も未成りし城を十
重二十重に丸かこも五重の別もたりく攻りこり
是中よりきりなり城に二の丸の櫓も書後未調
ふらん傳るなりとよく案し諸害く川際ハ
付りりともや曾乗堅もり若者も是等切

之お物よりあふひあふいまとぬきり案ふ言て攻
りりりり城を防きりねち控一の門より入る款
よこと破ら道たり居城ハふふ一いさきよく
御死しそ義名をとり孫ふのこせとふ不傳案と
ぬりめそ命と防りお防まりれいあふし言と破
りねそふそ勢と門よりくそい居城進きりあり
いそとせんと城を更村即ち進つて案をとるそ
にあきりもちた敵の国の中たりれま今に合後
諸とまきけしけりねとけふあてい更居さ
まんとりりひりりそ帝等の也ハ計り